

昭和新山登山 雷雨で中止

2024(令和 6)年 6 月 16 日(水) L:SWD 参加者 17 人

今日の行先は壮瞥町(そうべつちょう 洞爺湖町の隣まち)にある昭和新山(398m)。
この山は特別天然記念物で国立公園内にあり、国内には珍しい山は私有地である。

昭和20年(1945)に山が盛り上がり、昭和新山ができた。その記録をとっていたのが三松正夫さんは、昭和52年(1977)に逝去されたが、明治43年(1910)の有珠山噴火と昭和20年(1945)の昭和新山生成、昭和52年(1977)の有珠山噴火を経験した人だ。

その山に火山学習会として位置付け、所有者の許可を得て、当会会員で火山マイスターのTKさん(ガイド)とともに、登ろうとしたが、天気予報は曇りで昼から雨模様で現地に着いたら雷と大粒の雨であえなく中止となった。

そのまま帰宅せず、三松正夫記念館昭和新山資料館に行き、会館内を見物し、三松翁のお孫さんの夫・三松三朗さん(87歳とおっしゃっていた。新山の所有者)の話聞いて、これが面白く、約2時間の火山の勉強をして解散した。昭和新山の登山は来年、再チャレンジします。



(入館料 300 円。いただいたパンフレット。)



○雨を避けるために一時バス停に避難しました。

減多にない昭和新山登山でしたので、小降りになることを期待しましたが、雨は酷くなる一方で、登山は残念ながら中止となりました。



○三松館長から貴重なお話を聞かせて頂きました。お話の中に、時折ユーモア等も挟まれて非常に楽しく昭和新山の歴史について学べました。パンフレットやインターネット等にも載っていないお話を聞く事が出来た素晴らしいひと時でした。



本来、館内は撮影禁止でしたが、今回は資料を直接撮影しないと言う条件付きで撮影許可を頂きました。

(記録・写真 SM山、SWD)